

オグリワン通信 第38号 H29.12

ワン君の近況

厳しい寒さを覚悟してスエトシ牧場を訪ねた日は、穏やかな小春日和となりました。気持ちよさそうに日向ぼっこしていたワン君、会ったとたんに「お土産は？」と催促、相変わらずですが可愛い！

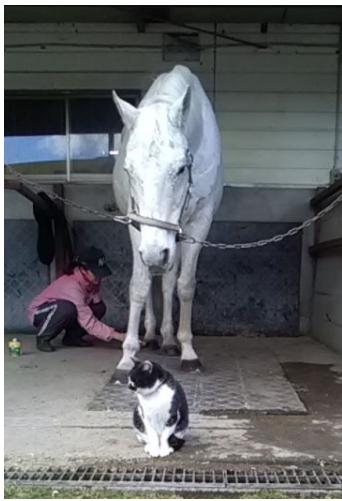
去年は原因不明の蕁麻疹が続いて心配しましたが、今年も夏前にそれらしき兆候は見られました。デトックスハーブで早めの手当てをしたおかげか、それ以上ひどくならずすみしました。肛門部のメラノーマは年々大きくなっていますが、体外に留まっている限りは、

そんなに



心配な状態ではないようです。他の場所に新たなものが見られますが、メラノーマに強いオグリ家の血はワン君にも受け継がれています。スエトシ牧場には38歳の日本一長寿のシャルロット君がまだまだ元気に暮らしています。ワン君も是非あやかかって、長生きしてほしいですね。

前日に訪れた会員さんにきれいに手入れしてもらったので、今回は裏掘りとブラッシングだけで済みました。



早速邪魔しに来る猫ちゃんにワン君も興味津々。

ところで、5月にはとってもうれしいことがありました。ずっとワン君を応援してくださっているOさんが、はるばる大阪から訪ねてきてくださったのです。お年を召されているので、ご自分もワン君も元気なうちに会いたいとお嬢さんが付き添って、朝早く大阪を発って、金沢経由という長旅でした。ワン君に

会えて、頬ずりして抱きついて、とても喜んでいらっしゃる姿に私たちもしみじみうれしかったです。ワン君に会って元気が出たそうですので、また是非いらしてください。お待ちしております。

会計監査

恒例の会計監査を中山開催中のパークウインズ東京競馬場で行いました。

ワン君が大きな病気・怪我もなく無事に1年を過ごし、新入会員や寄付をくださる方々のおかげで会の財政も何とか危機的状況を乗り越えたせいも、和やかな話し合いができました。

Mさんには帳簿・通帳・帳票など丁寧にチェックしていただきました。会計報告を同封しますので、ご覧ください。

また、最近のワン君の写真も同封いたしました。

瀬戸口先生

オグリキャップの中央競馬時代の調教師、瀬戸口勉先生が11月9日急性白血病でご逝去されました。穏やかで人情味のある調教師さんでした。生前の先生と交流があって、お悔やみにもいらっしやった会員のFさんに思い出をうかがいました。「何かあったら遠慮しないで、電話くれたらいい」「いつでも訪ねておいで」とお目の悪いFさんをいつも気遣ってくださったとか。ずっとお元気だったのに、10月末に体調を崩して入院なさったときには「余命1週間」と言われ、本当に急なご逝去だったようです。奥様を4年前に亡くし、最期は2人のお嬢様に見守られ、ご自宅で静かに息を引き取られました。ご冥福をお祈りいたします。

「優駿」1月号に瀬戸口先生とオグリキャップの有馬記念の記事があります。やはり有馬記念といえばオグリキャップ。キタサンブラックも引退の花道を飾りましたが、観客のコールは「ユタカ」。馬の名前がコールされたのは後にも先にもオグリだけ、とテレビ見ながら意地悪な満足感がありましたが、「キタサンブラック」では正直コールしにくかったのかもしれない。

オグリの血は続く

オグリキャップの最後の産駒アイちゃんことミンナノアイドル。1戦のみで引退、新冠の佐藤牧場で繁殖生活に入りました。初年度に父ゴールドアリュールのストリートキャップが生まれましたが、その後4年不受胎や死産が続きました。種牡馬としての評価は高くなかったオグリの娘、1戦未勝利では、見切りをつけられても仕方ないと私たちも覚悟したものでした。しかし、オグリのファン佐藤さんは、待っていただきました。今年無事にゴールドアリュールの男の子が誕生！とてもバランス良い体型だそうで、お兄さんはすでに3勝していますから、この子も期待できそうです。ローレルクラブで一口会員募集中です。アイちゃんは来年5月モーリスの子を出産予定です。

この1年ワン君を見守ってくださって、ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。 YN